

「脛骨骨幹部骨折に対する髓内釘固定による日本の標準的治療： 多機関共同後ろ向きコホート研究」のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(2023年8月22日)～2027年3月31日

〔研究課題〕

脛骨骨幹部骨折に対する髓内釘固定による日本の標準的治療：多機関共同後ろ向きコホート研究

〔研究目的〕

日本国内の医療機関で、脛骨骨幹部(足の脛すねの部分)の骨折に対して手術した方を評価し、患者さんの特徴や骨が癒合する割合・手術後の経過・再度手術となる原因等を明らかにすることを目的とします。

〔研究意義〕

整形外科領域において、脛骨骨幹部骨折は手術の機会が多い骨折です。しかし、どのような患者さんがこの骨折をおこすか、また昨今の技術革新が、治療成績や患者さんの生活にどのように影響を与えるかなどはわかっておらず、この研究で明らかになることが期待できます。

〔対象・研究方法〕

研究は2017年1月から2022年3月に脛骨骨幹部骨折の手術を実施した18歳以上の方を対象とし、手術後30日未満の観察期間の方や病的骨折の方は対象外にします。カルテから取得するデータは基本情報(年齢、性別、身長、体重、職業、生活環境、既往歴など)、骨折データ、入院時採血データ、手術に関する情報、退院時の情報などです。

〔研究代表機関名〕

多機関共同研究として行います。

研究代表者：帝京大学医学部 整形外科学講座 渡部欣忍 教授

〔個人情報の取り扱い〕

情報は個人を特定できない形に加工して保管されます。個人を特定できない形に加工されたデータが共同研究機関から帝京大学に提供され、帝京大学臨床研究センターで集計・解析されます。データは、厳重な管理のもと、研究終了後10年間保管されたのちに破棄されます。

〔研究資金〕

本研究は日本ストライカー株式会社からの資金提供を受けて行われます。結果公表時には利益相反を開示します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 渡部 欣忍 職名 教授
所属: 帝京大学医学部整形外科学講座
研究分担者: 乾 貴博 職名 助教
所属: 帝京大学医学部整形外科学講座
住所: 東京都板橋区加賀 2 丁目 11 番地 1 号 TEL: 03-3964-1211

共同研究機関一覧

山梨県立中央病院
順天堂大学医学部附属静岡病院
済生会滋賀病院
京都第一赤十字病院
京都第二赤十字病院
大阪市立総合医療センター
大阪済生会千里病院
堺市立総合医療センター
神戸市立医療センター中央市民病院
京都岡本記念病院
相澤病院
小牧市民病院
みやぎ県南中核病院
静岡赤十字病院
広島大学大学院医系科学研究科